

グリーン成長プロジェクト(農水産業分野)

○ G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」の具現化に向け、海外資源への過度な依存からの転換を図り、**持続性と生産性の両立による本県農水産業の更なる発展**を目指す

① 持続性の高い農水産業への転換

- 飼料自給率の向上
- エネルギー転換等による化石燃料使用量の低減
- 有機肥料の活用等による化学肥料の低減
- 藻場造成による生産力向上とブルーカーボン創出 など



主な目指す姿(R8)

粗飼料自給率 (牧草など牛のエサ)	12ポイント増※ (88%→100%)
化石燃料使用量(施設園芸)	5%減※
化学肥料使用量	15%減※
造成藻場面積(漁港)	2,112m ² 増※

※R3比

② 新たなイノベーション等による生産性の向上

- スマート技術の高度化・現場実装
- 効率的な生産基盤の確立
- DX等による流通体制の効率化 など



主な目指す姿(R8)

ピーマン自動収穫ロボット	現場実装
産地での環境、生育、出荷データ	共有・活用
海況情報アプリ等で効率的な操業	現場実装

③ 両立を支える担い手の確保

- 多様な人材の活用に向けた環境づくり など

より生産力が高く、強じんて持続可能なみやざき農水産業の実現

農業産出額(R12) 3,742億円

漁業・養殖業産出額(R12) 435億円